

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 18 年 5 月 18 日 (2006.5.18)

【公開番号】特開 2000-232441 (P2000-232441A)
 【公開日】平成 12 年 8 月 22 日 (2000.8.22)
 【出願番号】特願 平 11-294928
 【国際特許分類】

H 0 4 L 9/08 (2006.01)

G 0 9 C 1/00 (2006.01)

G 1 1 B 20/10 (2006.01)

【F I】

H 0 4 L 9/00 6 0 1 A

G 0 9 C 1/00 6 6 0 E

G 1 1 B 20/10 H

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 3 月 17 日 (2006.3.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

自身の世代より前の世代を生成可能な第 1 のキーを、外部から取得する取得手段と、
 前記第 1 のキーを記憶する第 1 のキー記憶手段の記憶内容を、前記取得手段により取得
 された前記第 1 のキーによって更新する更新手段と
 を備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】

前記更新手段は、前記取得手段により取得された前記第 1 のキーの世代が、前記第 1 の
 キー記憶手段に記憶された前記第 1 のキーの世代より後の場合に、前記第 1 のキー記憶手
 段の記憶内容を更新する
 ことを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】

前記更新手段は、前記第 1 のキー記憶手段に記憶された第 1 のキーを、前記取得手段に
 より取得された第 1 のキーに書き換える
 ことを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】

前記第 1 のキー記憶手段に記憶された第 1 のキーから、その第 1 のキーの世代よりも前
 の世代の第 1 のキーを生成する生成手段をさらに備える
 ことを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 5】

所定の第 1 のキーの世代を表す世代情報が記録されている記録媒体における前記世代情
 報が表す世代と、前記第 1 のキー記憶手段に記憶された第 1 のキーの世代とを比較する比
 較手段と、

前記比較手段による比較結果に基づいて、前記記録媒体へのデータの記録を制御する記
 録制御手段と

をさらに備えることを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 6】

所定の第 1 のキーの世代を表す世代情報が記録されている記録媒体における前記世代情報が表す世代の第 1 のキーを、前記第 1 のキー記憶手段に記憶された第 1 のキーから生成する生成手段と、

前記生成手段によって生成された第 1 のキーに基づいて、データを暗号化し、暗号化データを出力する暗号化手段と、

前記暗号化データを、前記記録媒体に記録させる記録制御手段と
をさらに備えることを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 7】

所定の第 1 のキーの世代を表す世代情報が記録されている記録媒体における前記世代情報が表す世代の第 1 のキーを、前記第 1 のキー記憶手段に記憶された第 1 のキーから生成する生成手段と、

前記記録媒体に記録されたデータを再生させる再生制御手段と、

前記記録媒体から再生されたデータを、前記生成手段によって生成された第 1 のキーに基づいて復号する復号手段と

をさらに備えることを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 8】

自身の世代より前の世代を生成可能なキーを、外部から取得する取得ステップと、

前記キーを記憶するキー記憶手段の記憶内容を、前記取得ステップにおいて取得された前記キーによって更新する更新ステップと

を備えることを特徴とする情報処理方法。

【請求項 9】

コンピュータに実行させるプログラムが記録されている記録媒体であって、

自身の世代より前の世代を生成可能なキーを、外部から取得する取得ステップと、

前記キーを記憶するキー記憶手段の記憶内容を、前記取得ステップにおいて取得された前記キーによって更新する更新ステップと

を備えるプログラムが記録されていることを特徴とする記録媒体。

【請求項 10】

データが、第 1 のキーに基づいて暗号化されて記録される
記録媒体であって、

自身の世代より前の世代を生成可能な第 1 のキーの世代を表す世代情報が記録されている

ことを特徴とする記録媒体。

【請求項 11】

前記世代情報は、書き換え不可の領域に記録されている

ことを特徴とする請求項 10 に記載の記録媒体。

【請求項 12】

複数の前記第 1 のキーとともに、その複数の第 1 のキーの世代を表す世代情報が記録されている

ことを特徴とする請求項 10 に記載の記録媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0018
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正5】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0020
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正6】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0021
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正7】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0022
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正8】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0023
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正9】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0025
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正10】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0026
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正11】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0027
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正12】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0028
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正13】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0029
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正14】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0030
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正15】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0031
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正16】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0032
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正17】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0033
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正18】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0034
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正19】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0035
【補正方法】削除
【補正の内容】